

区分	プログラム	講師 * 敬称略、所属は収録時情報		講義時間	収録年月	公開年月
基礎研修(1)	がん対策	厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課	川口 美度理	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(1)	相談支援	愛媛大学医学部附属病院	塩見 美幸	36分	2023年3月	2024年2月
基礎研修(1)	相談支援Ⅱ	三重大学医学部附属病院	堀口 美穂 塩見 美幸	27分	2024年6月 2023年2月	2025年2月
基礎研修(1)	社会資源	倉敷中央病院	松嶋 史絵	●分	2026年1月	2026年2月
基礎研修(1)	臨床腫瘍学	国立がん研究センター中央病院	下井 辰徳	63分	2023年12月	2024年2月
基礎研修(1)	緩和ケア	国立がん研究センター中央病院	荒川 さやか	45分	2024年12月	2025年2月
基礎研修(1)	精神腫瘍学	東邦大学医療センター大森病院	梅澤 志乃	59分	2023年12月	2024年2月
基礎研修(1)	放射線治療	国立がん研究センター中央病院	稻葉 浩二	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(1)	薬物療法	国立がん研究センター中央病院	北台 留衣	25分	2025年1月	2025年2月
基礎研修(1)	手術療法	日本大学医学部	櫻井 裕幸	59分	2024年12月	2025年2月
基礎研修(1)	コミュニケーションスキル	三重大学医学部附属病院	堀口 美穂	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(1)	相談対応の質の評価	神戸大学医学部附属病院	酒見 悅子	51分	2023年4月	2024年2月
基礎研修(1)	がん相談支援センターに期待すること	NPO法人GISTERS	櫻井 公恵	24分	2023年11月	2024年2月
基礎研修(2)	がん予防	国立がん研究センターがん対策研究所	志賀 久美子	10分	2023年11月	2024年2月
基礎研修(2)	がん検診	国立がん研究センターがん対策研究所	細野 覚代	30分	2024年12月	2025年2月
基礎研修(2)	診療ガイドラインとその活用	国立がん研究センターがん対策研究所 滋賀県立総合病院	櫻井 雅代 岡村 理	68分	2023年11月	2024年2月
基礎研修(2)	支持療法	兵庫医科大学病院	西村 裕美子	●分	2025年12月	2026年2月
基礎研修(2)	臨床試験	国立がん研究センター中央病院	中濱 洋子	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(2)	高齢者とがん	国立がん研究センター東病院	小川 朝生	48分	2023年12月	2024年2月
基礎研修(2)	がんと生殖医療	聖路加国際病院	橋本 久美子	●分	2025年5月	2026年2月
基礎研修(2)	AYA世代とがん	京都大学大学院医学研究科	竹之内 直子	45分	2022年11月	2023年2月
基礎研修(2)	がん情報サービスの使い方	国立がん研究センターがん対策研究所	宮本 紗代	●分	2026年1月	2026年2月
基礎研修(2)	がんゲノム医療	国立がん研究センター中央病院	小山 隆文	38分	2024年12月	2025年2月
基礎研修(2)	患者会・ピアサポーター	群馬大学医学部附属病院	渡辺 恵	32分	2022年11月	2023年2月
基礎研修(2)	在宅医療	みる見る訪問看護ステーション	賢見 卓也	●分	2026年1月	2026年2月
基礎研修(2)	肺がん	国立がん研究センター中央病院	新野 祐樹	36分	2024年12月	2025年2月
基礎研修(2)	乳がん	国立がん研究センター中央病院	小川 あゆみ	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(2)	大腸がん	国立がん研究センター中央病院	高島 淳生	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(2)	胃がん	国立がん研究センター中央病院	吉川 貴己	41分	2023年11月	2024年2月
基礎研修(2)	前立腺がん	国立がん研究センター中央病院	杉山 恒平	●分	2025年12月	2026年2月
基礎研修(2)	肝胆膵がん	国立がん研究センター中央病院	水井 崇浩	●分	2025年11月	2026年2月
基礎研修(2)	血液がん	国立がん研究センター中央病院	伊豆津 宏二	39分	2024年12月	2025年2月

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
基礎研修(1)	がん対策		基礎科目
	相談支援	<p>がん専門相談員は、患者や家族等の相談者がその人らしい生活や治療選択ができるよう支援することを役割とする。本講義では、日本のがん対策の中でのがん相談支援センターの位置づけを歴史的経緯を踏まえて説明した後、がん専門相談員にとって業務の指針となる基本姿勢、International Cancer Information Service Group (ICISG)の“Core Values”、がん相談 10 の原則、がん相談支援のプロセスについて解説する。</p> <p>【キーワード】がん専門相談員、基本姿勢、CoreValues、がん相談 10 の原則、がん相談支援のプロセス</p>	基礎科目
	相談支援 II	<p>がん専門相談員の役割とは、がん患者やその家族に対して科学的根拠とがん相談員の実践に基づく情報提供をすることで、その人らしい生活、治療選択ができるよう支援することである。本講義では、第一部にて対象者理解、主訴とニーズ、アセスメントと支援について説明し、第二部にて連携・協働における相談員の役割、連携のメリット・デメリットについて説明する。</p> <p>【キーワード】がん相談員の役割、対象者理解、主訴、ニーズ、ストレングス、コミュニケーションスキル、アセスメント</p>	基礎科目
	社会資源		基礎科目
	臨床腫瘍学	<p>がんの基礎的な知識、検査、治療の考え方、がん治療における現在の問題点やトピックについて紹介する。</p> <p>【キーワード】がんの原因、がんの検査、がん治療、セカンドオピニオン、腫瘍マーカー、検診、臨床研究、標準治療、ガイドライン、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ゲノム検査・医療、遺伝子異常、緩和ケア、医薬品の開発、ドラッグロス、経済毒性</p>	基礎科目
	緩和ケア	<p>緩和ケアとは、生命を脅かす疾患に罹患した患者、家族、介護者の様々な苦痛を予測、予防、軽減し、QOLを高めることである。本講義では、緩和ケアの定義の変遷を概観し、緩和ケアの目標、対象、現状、基本的緩和ケアと専門的緩和ケアの相違、療養場所、疼痛の治療法、疼痛の評価法を紹介する。</p> <p>【キーワード】緩和ケアの定義、緩和ケアの目標、緩和ケアの対象、専門的緩和ケア、療養場所</p>	基礎科目
	精神腫瘍学	<p>がん患者・家族は診断時のみならず、治療期、経過観察時にも心の変化が生じやすい。相談員として、患者・家族に応対する際の基本的なコミュニケーションを確認するとともに、不安や抑うつ、適応障害、せん妄、否認、怒り、統合失調症の症状とその対応について学ぶ。また、新たに発達障害のある方への有効なアプローチを学んだ。希死念慮、自殺のリスクアセスメントについても紹介し、チームアプローチのポイントについても言及する。</p> <p>【キーワード】基本的なコミュニケーション、心の変化、3大精神症状、否認・怒り、精神疾患、発達障害、希死念慮、自殺対策、チームアプローチ</p>	基礎科目
	放射線治療	<p>本講義では、放射線治療の概要（原理、種類、副作用）、がん治療における放射線治療の目的や症例、治療にかかる費用について紹介する。</p> <p>【キーワード】放射線治療、高精度放射線治療、粒子線治療</p>	基礎科目

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
	手術療法	<p>「手術」に関する新規の講義である。旧来の直視下手術に加え、鏡視下手術、ロボット支援下手術の特徴を外科医の視点から紹介する。また、最近増加している縮小手術についても取り上げ、根治性、安全性、機能性を考慮した手術療法の進化とその傾向をデータを用いて解説する。さらに、高齢者の手術が増加している現状を踏まえ、意思決定支援にかかる際のポイントも織り込まれている。</p> <p>【キーワード】手術、適応、術前管理、各手術方法の特徴、合併症、高齢者の手術</p>	基礎科目
	薬物療法	<p>がんの治療法の1つである薬物療法について、目的や種類、適応条件、副作用、投与方法を紹介する。</p> <p>【キーワード】細胞障害性抗がん剤、分子標的薬、内分泌療法、免疫療法・細胞療法、免疫チェックポイント阻害薬</p>	基礎科目
	コミュニケーションスキル	<p>相談支援の場面で、相談者は身体的苦痛のみならず、がんやがん治療による心理・社会的苦痛を抱えている。相談員は傾聴/共感/受容といった心理的サポートをおこないながら、コミュニケーションスキルを使い、主訴の背景や根底にある思いにも目を向ける必要がある。本講義では、がん相談員として必要なコミュニケーションスキルおよびコミュニケーションの留意点を紹介する。</p> <p>【キーワード】心理的サポート、傾聴、共感、受容、相談員の意図、主訴とニーズ、言語的コミュニケーション、コミュニケーションの4つの要素、コミュニケーションの技術、価値観、怒り、スピリチュアルケア</p>	基礎科目
	がん相談支援センターに期待すること	<p>がん相談支援センターは、がん患者・家族等からの強く熱い想いにより誕生した。がん対策基本法の閣議決定から第4期がん対策推進基本計画までの変遷、携わった患者委員の想いを紹介する。また、がん患者・家族の心理、社会的苦悩を具体的に解説し、がん相談支援センターに期待することを実際の患者・家族の立場から説明する。</p> <p>【キーワード】がん対策、患者・家族等の想い、がん相談支援センターへの期待</p>	基礎科目
	がん予防	<p>巷にはがんが予防できるという食品・食生活等いろいろな情報があふれている。本講義では、科学的根拠に基づく日本人のためのがん予防について紹介する。また、がん予防に関するよくある相談や、相談対応の際に活用できる情報源も併せて紹介する。</p> <p>【キーワード】5つの健康習慣と感染予防</p>	実践応用科目
	がん検診	<p>がん検診は、がんの死亡率減少を目指して、無症状の健康な集団からがんの疑いのある人、無い人を選別することを目的としている。本講義では、がん検診の種類や流れ、がん検診における利益・不利益の考え方、がん検診マネジメント、現在実施されている受診率対策について紹介する。</p> <p>【キーワード】がん検診の利益・不利益、がん検診アセスメント、がん検診マネジメント、受診率対策</p>	実践応用科目
	診療ガイドラインとの活用	<p>インフォデミックな社会において患者・家族の意思決定を支援するためには、確かな医療情報を見極め、活用することが求められている。前半は、がん専門相談員に活用していきたい診療ガイドラインについて、作成目的や活用のポイント、活用する際の注意点などを紹介する。後半は、実際にガイドラインを活用した情報支援について「ヘルスリテラシー」に基づくアセスメントの視点も踏まえながら事例を通して紹介する。</p> <p>【キーワード】情報、インフォデミック、診療ガイドライン、ヘルスリテラシー</p>	実践応用科目

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
	支持療法	<p>がん患者や家族が抱える副作用・後遺症、日常生活に関連した「気がかり」や「困りごと」を俯瞰するとともに、がん治療に伴う有害事象を予防・軽減し、治療を安全かつ継続可能にするための支援である「支持療法」について解説する。あわせて、悪心や末梢神経障害などの代表的な症状を例に、具体的な対応や支援の考え方を紹介する。</p> <p><b>【キーワード】</b> 支持療法、irAE、悪心・嘔吐、発熱性好中球減少症、末梢神経障害、食欲不振、味覚障害、口腔粘膜炎、倦怠感、がん悪液質、アピアランス支援、リンパ浮腫</p>	実践応用科目
	臨床試験	<p>臨床試験（臨床研究、治験、先進医療、患者申出療養を含む）について解説する。臨床試験から標準治療を生み出していること、標準治療は臨床試験の結果現在受けられる治療の最良であることを述べている。臨床試験の目的、プロセス、利益と不利益など解説している。また、現在の日本のドラッグラグの課題についても言及している。相談員として臨床試験の相談に対しどのような姿勢で進めていくとよいかのアドバイスもある。</p> <p><b>【キーワード】</b> 臨床試験、治験、先進医療、患者申出療養、標準治療</p>	実践応用科目
	高齢者とがん	<p>超高齢社会が到来している。高齢者のがん治療では、進行してからの発見が多いことや治療の差し控え、不適切な意思決定の懸念、支える家族の負荷増大等が懸念されている。個々の高齢者に応じた適切な支援を考えるにあたっておさえておきたい、高齢者総合的機能評価(CGA)を始めとする高齢者をアセスメントするための考え方を紹介する。また、認知機能が低下した際の意思決定支援の考え方を紹介する。</p> <p><b>【キーワード】</b> フレイル、高齢者総合的機能評価(CGA)、認知症、意思決定支援、ノーマライゼーション</p>	実践応用科目
	がんと生殖医療	<p>本講義では、がん治療の生殖機能への影響、妊娠性温存療法とその費用・助成金、がん生殖医療をおこなっている施設と実際の連携、がん患者の妊娠性温存における心理・社会的支援、またがん治療後の子どもをもつ選択肢とその支援を紹介する。</p> <p><b>【キーワード】</b> がん・生殖医療、がん・生殖医療ガイドライン、妊娠性温存療法、がん生殖医療を行っている施設、がん患者等の妊娠性温存療法研究促進事業、プレコンセプションケア、里親・養子縁組</p>	実践応用科目
	AYA世代とがん	<p>AYA世代への支援については、令和4年8月の「がん診療連携病院などの整備に関する指針」および「小児がん拠点病院などの整備に関する指針」にも明記され、施設や地域において連携して取り組む必要がある。本講義では、AYA世代の特徴、治療上の問題、患者ニーズ、就学・就労支援、子ども（親）への伝え方、晚期合併症、長期フォローアップについて概説する。</p> <p><b>【キーワード】</b> AYA世代、AYA世代患者のニーズ、就学支援、就労支援、晚期合併症、長期フォローアップ</p>	実践応用科目
基礎研修(2)	相談対応の質の評価	<p>がん相談支援センターで求められるがん相談の品質基準やそれを保つための活動について紹介する。また、がん相談のプロセス評価を行う「がん相談対応評価表」の作成経緯、記入の仕方、注意点、その後のグループディスカッションの目的やルールについて紹介する。さらに、がん相談支援センター内でディスカッションを行う時に障壁となる課題解決のヒントを伝える。</p>	実践応用科目

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
		【キーワード】相談対応の質保証、相談対応のプロセス評価、がん相談対応評価表	
がん情報サービスの使い方		がん情報サービスウェブサイトは、相談員にとって情報支援の重要ツールである。また、確かに安心安全なサイトとして、相談者との共通言語ともなりうるものである。2021年のサイトリニューアルを機に、患者家族が主体的に意思決定できる一助として活用できるよう、サイトの情報収集の仕方、相談支援に活用する具体例などを解説する。 【キーワード】がん情報サービスとは、確かにがんの情報、がん情報サービスウェブサイトの活用法	実践応用科目
がんゲノム医療		がんゲノム医療は第4期がん対策推進基本計画にも明記され、ゲノム医療を必要とするがん患者が全国どこにいても受けられるような体制整備が目指されている。本講義では、がんゲノム医療とは、がん遺伝子パネル検査、がんゲノム医療の提供体制、リキッドバイオプシー、がんゲノム医療の近未来について紹介する。 【キーワード】がんゲノム、遺伝子、コンパニオン診断薬、遺伝子パネル検査、リキッドバイオプシー	実践応用科目
患者会・ピアサポート		がん患者（サバイバー）は、だれかを支えるエンパワメントの種を持っており、その力を発揮できるような環境づくりが求められている。本講義ではその環境づくりのひとつである、がんサロンやピアサポートの個別面談等医療機関で取り組むピアサポート運営に関して、場がもたらす効果や参加者とともに作り上げられるサロン作りの実践例、私たちがん相談支援センターの役割等を解説する。 【キーワード】ピアサポート、ピアサポート、がんサロン	実践応用科目
在宅医療			実践応用科目
肺がん		肺がんは、罹患数、死亡数が男女ともに上位に位置し、予後の悪いがんとして知られている。本講義では、はじめに肺がんの危険因子や症状といった基礎知識の他、検査の流れ、組織型・ステージ分類の考え方について紹介する。その上で、各組織型分類・遺伝子変異・ステージによる治療の概要、ベネフィット、リスクについても紹介する。 【キーワード】組織型分類、ステージ分類、手術、放射線治療、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬	各論専門科目
乳がん		乳がんの疫学、検査、診断、治療、検診について紹介する。また、遺伝性乳がんや妊娠性温存についても説明している。 【キーワード】乳がん、遺伝性乳がん、妊娠性温存	各論専門科目
大腸がん			各論専門科目
胃がん		胃がんの罹患数は増加傾向にあり、特に高齢者の胃がんが増加している。本講義では、先ず胃がんを理解するための基礎知識として、死亡数・生存率・危険因子を紹介する。その後、検診・診断・進行度分類、各治療の内容を紹介する。 【キーワード】罹患数、死亡数、リスク因子、ピロリ菌、症状、病期、内視鏡治療、手術、ロボット手術、ダンピング症候群、化学療法、HER2	各論専門科目

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
血液がん	血液がん	<p>本講義では血液がんの三大疾患である白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髓腫の検査、病態および治療の概論を解説する。血液がんは多くの病型が存在し、それにより治療や臨床経過、予後などが異なる。近年新たな治療薬・治療法が数多く登場し治療効果の改善が見られている一方、再発・難治性の場合の治療成績は十分とはいえず、今後の治療開発が期待されている。</p> <p>【キーワード】白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髓腫、造血幹細胞移植、CAR-T療法</p>	各種専門科目
	前立腺がん		各種専門科目
	肝胆膵がん	<p>肝がん、胆道がん、膵がんは、いずれも難治性のがんである。本講義では、これら3つのがんの症状・診断・治療について概説していく。具体的には、肝がんでは肝炎と肝がんの関連、ラジオ療法や粒子線治療等の局所治療を含めた治療法、胆道がんでは診断、治療法の選択と内容、膵臓がんでは診断、治療を切除例・局所進行例・遠隔転移例にわけて解説する。また、それぞれのがんに対する最新の薬物療法についても解説する。</p> <p>【キーワード】肝がん、肝炎、局所療法、胆道がん、膵がん、免疫療法</p>	各種専門科目